

耳よりウンチク学

安全靴の基準

安全作業靴には、「安全靴」と「プロテクティブスニーカー」の二つの規格があります。

耐圧迫性能や耐踏み抜き性等に差がありますので、作業内容に応じて選択をすることが大切です。



		安全靴			プロテクティブスニーカー	
適応規格		JIS規格(T 8101)			JPSA規格	
材質	甲被材	革・総ゴム製 (耐油性ゴム、非耐油性ゴム)			革・人工皮革・ ビニールレザークロス	
	底材	ゴム又はウレタン			ゴム・ウレタン	
作業区分		重作業用 (H)	普通作業用 (S)	軽作業用 (L)	普通作業用 (A) JIS規格の Sに相当	軽作業用 (B) JIS規格の Lに相当
耐圧迫性能(kN)		15±0.1	10±0.1	4.5±0.04	10±0.1	4.5±0.04
表面はくり抵抗 (N)		300以上		250以上	人工皮革・ビニールレザークロ 200以上	150以上
付加的性能 ※オプション						
耐踏み抜き性 (くぎ貫通時の力)		1,100N以上			規格なし	
耐滑性能 (靴底の動摩擦係数)		0.20N以上			規格なし	